

(付録)

一般廃棄物の廃棄方法

廃棄物の種類		回収日	摘要	廃棄場所
可燃物	[一般ゴミ] 紙・木・繊維類	平日毎日	大きな物品（廃棄物）は、小さく（分解および壊す等）して投棄して下さい。	第4学舎1号館東横側（理工系オフィス裏） 指定位置に分別投棄 用意したカゴ（種別ごとに表示） にいれる。
	不燃物	プラスチック・ビニール・ゴム・ポリエチレン類		
金属くず		平日毎日		
ガラス・陶磁器類		平日毎日		
蛍光灯		平日毎日		
ビン・カン		隔日		
ペットボトル類		平日毎日		
	コンクリート片・鋸さいがれき類	随時		第6実験棟北側コンテナへ投棄して下さい。
機械装置・器具備品類および部品（パソコンおよび周辺機器含む） なお、備品ラベルのあるものは、廃棄手続きが完了するまで廃棄できません。ハードディスク等の記憶装置は、個人情報情報を完全に消去してから、廃棄してください。		重量物および大型物品（廃棄物）は、目処として、2人程度で運搬出来る重量範囲。 これ以外の重量物および大型物品（廃棄物）については、業者委託とし、各研究室の負担とする。	第4学舎1号館東横側（オフィス裏） 毎週月曜日 14:30～16:00 ※毎週平日火曜日に回収 上記時間帯以外の投棄は禁止 （学外より無断投棄する恐れあり）	
[古紙] 新聞・冊子類等		原則として月1回 25日に回収	1号館東横側（オフィス裏）教授棟下に随時置いておく。	
[焼却文書] 機密文書		年2回 6月・12月に回収	係より、事前に日時、場所を連絡	

業者が回収しない物品

[家電リサイクル製品] フリーザー・冷凍庫・冷蔵庫・テレビ・洗濯機・空調機 [その他] 液体物、ライター、バッテリー、リチウムイオン電池等が内蔵された電子機器類（タブレット端末等）など	新規購入時に、廃棄物品の引取り料も含め、各研究室・学科で業者委託を原則とする。 次項の“実験系廃棄物の廃棄方法”を参照すること。
---	---

実験系廃棄物の廃棄方法^{※1}

廃棄物の種類		回収日	注意事項	回収場所
1	不要試薬	年2回	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入時に数量調査を行い指定の様式でリストを作成し申込書を提出して下さい。 ・実験廃液は対象外です。 ・水銀含有物(水銀温度計、水銀ランプ等)は割れない様に保管して下さい。 	第2実験棟 BF 環境管理室
	試薬および不明薬品 ^{※2}			
	水銀含有製品			
2	実験廃液	月2回	<ul style="list-style-type: none"> ・指定の様式(原則 CRIS) でリストを作成し申請して下さい。 ・詳細は処理マニュアルおよび「薬品および実験廃棄物に関する取扱要領」を参照して下さい。 ・(無機系廃液)有機物の混入は極力避けて下さい。 	第5実験棟裏危険物倉庫前
	無機系実験廃液	週1回		第2実験棟 BF 排水処理場
3	薬品付着物 ^{※3}	月2回	<ul style="list-style-type: none"> ・一般可燃ゴミと区別して下さい。 ・有機系実験廃液回収日に搬入して下さい。 ・廃棄申請は指定の様式で申請して下さい。 ・薬品が付着しているかどうか疑わしいものは、薬品が付着したもののみならず、袋の形状は無色透明ポリ袋で、内容量は1袋当たり10kg以下として下さい。 ・薬品が付着していないもの(異臭や有害性がないもの)は研究棟・各実験棟の所定場所に設置された“緑色の専用ボックス”に廃棄して下さい。 ・詳細は処理マニュアルを参照して下さい。 	第5実験棟裏危険物倉庫前
	可燃廃棄物 (薬品が付着したプラスチック製器具、ゴム・シリコン製器具、手袋、アルミホイル、その他薬品が付着した可燃物)			(一時保管第4種可燃のみ)
	不燃廃棄物 (薬品が付着したシリカゲル、アルミナ、活性炭、モレキュラーシーブ、セライト、樹脂、ガラス)	第4学舎1号館東横側(理工系オフィス裏)倉庫内		
4	金属関係廃棄物	平日 毎日	<ul style="list-style-type: none"> ・金属の種類(マグネシウム削り粉など)によっては、水分と反応して発火する危険性があるため、不活化して廃棄して下さい。 	第4学舎1号館東横側(理工系オフィス裏)不燃物廃棄場所
5	電池	年2回	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は処理マニュアルおよび「薬品および実験廃棄物に関する取扱要領」第23条を参照して下さい。 ・液漏れしないように保管して下さい。 ・リサイクル可能なものは、1.不要試薬もしくは購入業者に回収を依頼して下さい。 ・乾電池は、絶縁テープを貼らず中身が見える袋(研究室名を明記)に入れて廃棄して下さい。 ・ボタン電池類は、火災予防上、一つずつテープ等で絶縁して廃棄して下さい。 	第2実験棟 BF 環境管理室
	鉛蓄電池(バッテリー、UPS)、リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、ニカド電池	週1回		第4学舎1号館東横側(理工系オフィス裏)倉庫内
乾電池、ボタン電池				
6	一斗缶	平日 毎日	<ul style="list-style-type: none"> ・一斗缶は中身を空にして、潰すか、そのままの形で廃棄して下さい。雨水が缶内部に入り込まない様に注ぎ口を下に向けた状態で廃棄して下さい。 	第4学舎1号館東横側(理工系オフィス裏)不燃物廃棄場所
7	ガラスくず	平日 毎日	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品類が付着しているものは洗浄後廃棄して下さい。ただし、薬品類の除去が困難な場合は、3.薬品付着物として廃棄して下さい。 	第4学舎1号館東横側(理工系オフィス裏)不燃物廃棄場所
8	コンクリート廃材	不定期	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱廃棄物：コンクリート、粘土、砂、砂利、石、煉瓦、砥石、木材、金属類(粉体物是否)、シリカゲル ◆対象外：薬品付着物、ペットボトル、ガラス類、薬品、紙類、液体、スプレー缶 	第6実験棟中庭
9	試薬ビン	平日 毎日	<ul style="list-style-type: none"> ・ビン内部を十分に洗浄乾燥しキャップを外した上でガラスくずとして廃棄して下さい。洗浄液は必ず集めて2.実験廃液で処理して下さい。ただし、薬品類の除去が困難な場合は、3.薬品付着物として廃棄して下さい。 ・(ポリ容器)容器内部を十分に洗浄乾燥後、“緑色の専用ボックス”に廃棄して下さい。 	第4学舎1号館東横側(理工系オフィス裏)不燃物廃棄場所
	ガラス以外	平日 毎日		
10	スプレー缶	平日 毎日	<ul style="list-style-type: none"> ・中身を使い切り火の気のない風通しのよい屋外で穴を開け金属くずとして廃棄して下さい。(穴あけ作業で危険を伴う際は教職員立会いのもと実施すること。) 	
11	感染性廃棄物	実験動物	<ul style="list-style-type: none"> ・実験動物の取り扱いは「関西大学動物実験規程」を参照して下さい。 ・血液付着物は1.不要試薬として処理して下さい。 ・液漏れしないように保管して下さい。 ・感染性廃棄物と識別できるように容器に表示して下さい。 	
	血液付着物等			
12	その他	PCB、アスベスト等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な処理が必要です。以下にお問い合わせください。 	

- ※1 実験系廃棄物（実験系廃液・試薬ビン・その他実験に伴い発生した実験系廃棄物）を一般ゴミとして排出することおよび不法に投棄することは厳禁です。上記の回収日に搬入して下さい。
- ※2 内容物が不明の廃薬品の処分は、処理費用が高額なため、日ごろから発生させないように日常の管理を徹底してください。やむを得ず廃棄する場合は、性状情報（液体・固体、無機物・有機物、可燃性・難燃性、有毒性、有害性など）を可能な限り調べ、廃棄申請をして下さい。
- ※3 回収の際は下表の分類表に従い個別に搬入して下さい。
- ※4 第1種回収ゴミは、不要試薬時に申請下さい。

分類	対象物
第1種回収ゴミ※4	Hg（水銀）含有物
第2種回収ゴミ	Pb（鉛）、Cr（六価クロム）、Cd（カドミウム）、As（ヒ素）、Se（セレン）、CN（シアン）含有物
第3種回収ゴミ	有機リン化合物、四塩化炭素、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、ベンゼン、チオベンカルブ、1,4-ジオキササン 含有物
第4種回収ゴミ	①②③以外の薬品付着物

問い合わせ先

理工系オフィス：内線 3729～3731

テクノサポートオフィス：内線 3781～3785 mail: techno@ml.kandai.jp

環境管理室：内線 5741、6595 mail: Eco-ml@ml.kandai.jp